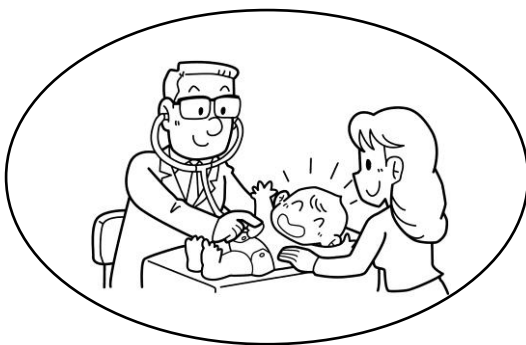
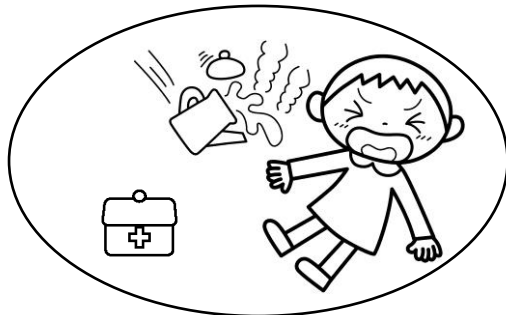


子どもの健康&安全 チェック



病気も心配ですが、実は乳幼児期の死因のトップは「不慮の事故」です。その多くは周囲の気配りで防ぐことができます。

転落・転倒	ソファやベッド、抱っこひもからの転落 ベランダや階段などからの転落
やけど	炊飯器や加湿器の蒸気にさわる、アイロン・ストーブにさわる、ポット・鍋をひっくり返す
おぼれる	浴槽に落ちる
誤飲・中毒・窒息	たばこ・医薬品・化粧水・洗剤・コイン・豆・ボタン電池などを誤って飲み込む
交通事故	道路への飛び出し

こどもの事故防止ハンドブックで検索

○毒性の高いもの（薬・化学薬品など）を飲み込んでしまったら

中毒 110 番（日本中毒情報センター） ※通話料がかかります

つくば中毒 110 番：029-852-9999（365 日 24 時間）

大阪中毒 110 番：072-727-2499（365 日 24 時間）

たばこ専用電話：072-726-9922（365 日 24 時間）



八千代市イメージキャラクター「やっち」

★ここがポイント★

子どもの体調チェック！

子どもの健康管理の基本は、「いつもと違う状態」に親が気付いてあげること。そのためには「いつもの状態」を把握しておくことが大切です。

1. 子どもの平熱を知っておきましょう

まずは子どもの平熱を知っておきましょう。
2～3 日、同じ時間帯など近い条件で体温測定をして把握します。

2. 子どもの様子をよく見てあげましょう

下記を参考に、体調チェックをしましょう。熱だけでは、病状の重さは判断できません。子どもは言葉で十分伝えられないので、親がよく見てあげることが大切です。

- ◆ 機嫌よくしていますか？
- ◆ 顔色・表情はいきいきしていますか？
- ◆ 元気に体を動かしていますか？
- ◆ 食欲はありますか？
- ◆ おしっこやうんちの色・回数・においはいつも通りですか？



病院を受診するか迷ったら…

○こどもの救急ホームページ～ONLINE QQ～

夜間や休日などの診療時間外に病院を受診するかどうか、判断の目安を提供しています。症状を入力すると、お子さんの症状にあわせた対処方法が表示されます。生後 1 か月から 6 歳までのお子さんが対象です。

<http://www.kodomo-qq.jp/>

こどもの救急で検索

○こども急病電話相談

夜間の急な子どもの病気にどう対処したらよいのか、病院の診療を受けたほうがいいのかなど判断に迷った時に、小児科医師・看護師への電話相談ができるものです。

相談日時：毎日 19:00～翌朝 8:00

電話番号：プッシュ回線の固定電話・携帯電話からは、

局番無しの #8000

ダイヤル回線、IP 電話、光電話からは、

043 (242) 9939



かかりつけの医師を

病気や健康診査、個別に受ける予防接種など、かかりつけの医師がいれば、適切な時期にその子に応じた診療や指導がうけられますし、急の時には良い相談相手になってもらえます。家の近所で、信頼できるかかりつけの医師を決めておくことでよいでしょう。